



# 2020年3月期 第2四半期 決算説明資料

2019年11月11日  
広島電鉄株式会社

# 2020年3月期第2四半期 連結経営成績

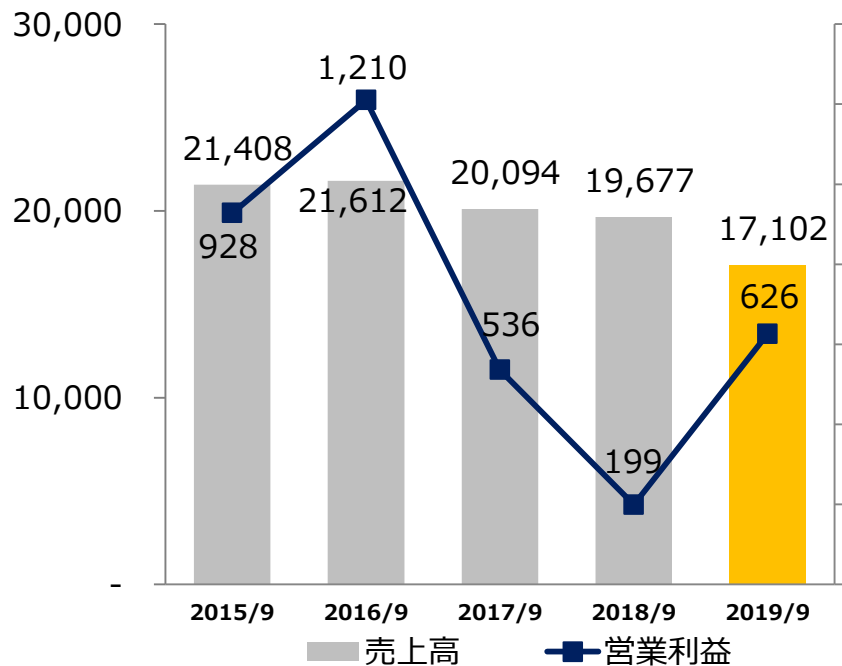
(百万円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減 (%)	主な増減要因	当初予想 (2019.5)	増減 (%)
売上高	19,677	<b>17,102</b>	△2,574 (△13.1)	2018年10月に(株)広電ストアのスーパー事業を事業譲渡したことによる大幅減収のほか、不動産販売業の宅地販売区画減少による減収も影響	<b>17,240</b>	△137 (△0.8)
営業利益	199	<b>626</b>	+427 (+214.7)	不採算事業（スーパー事業）の整理による効果や、平成30年7月豪雨の反動増、5月の大型連休効果による運輸業の増収により増益	<b>310</b>	+316 (+101.9)
経常利益	183	<b>656</b>	+472 (+257.1)		<b>300</b>	+356 (+118.7)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	171	<b>488</b>	+316 (+184.6)	前年度に(株)広電ストアを清算したことで、当社に税務上の繰延欠損金が発生し法人税等の負担率が減少	<b>220</b>	+268 (+121.8)
1株当たり 四半期純利益	5.65円	<b>16.09</b>	+10.44円			

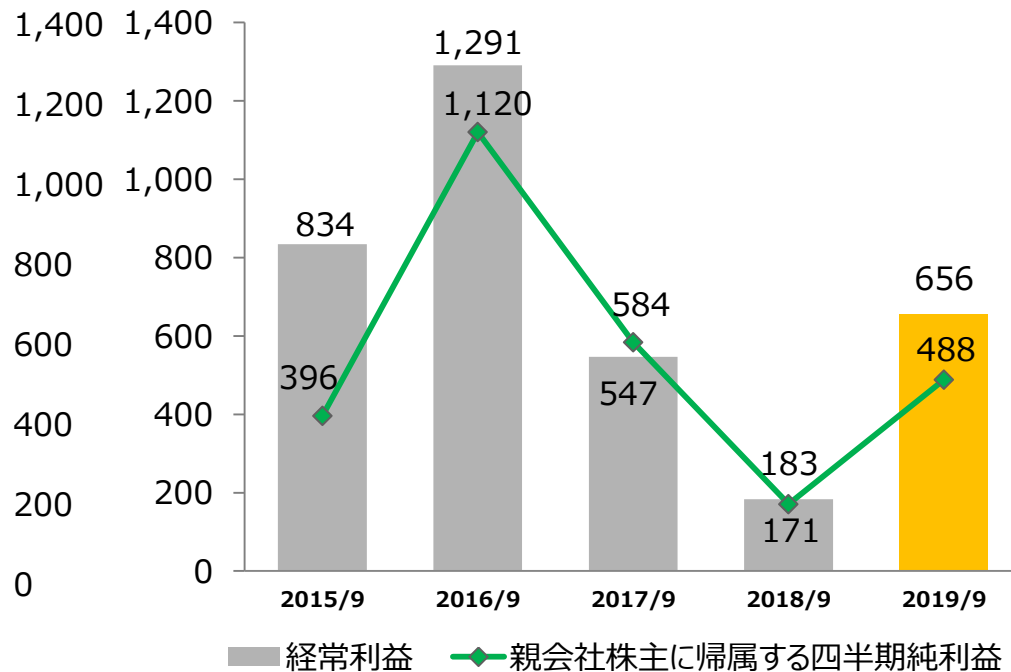
# 連結業績の推移 (第2四半期)

(百万円)

## 売上高・営業利益



## 経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益



# 連結貸借対照表(B/S)

(百万円)

	2019年3月期	2020年3月期 第2四半期	増減	主な増減要因
流動資産	13,076	11,006	△2,070	未収補助金の入金など
固定資産	75,681	75,241	△439	投資有価証券の時価下落など
資産合計	<b>88,758</b>	<b>86,248</b>	△2,509	
流動負債	17,968	16,243	△1,724	未払金、短期借入金の減少など
固定負債	28,610	27,670	△940	長期借入金の減少など
負債合計	<b>46,579</b>	<b>43,914</b>	△2,665	
株主資本	17,191	17,493	+301	利益剰余金の増加
その他の包括利益累計額	23,876	23,709	△166	投資有価証券の時価下落による その他有価証券評価差額金の減少など
非支配株主持分	1,110	1,130	+20	
純資産合計	<b>42,178</b>	<b>42,333</b>	+155	
負債純資産合計	<b>88,758</b>	<b>86,248</b>	△2,509	

# 連結キャッシュ・フロー(C/F)

(百万円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減額	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	468	2,239	+1,771	税引前四半期純利益の増加 前期に分譲マンション用地を取得した影響による 支出の反動減など
投資活動によるキャッシュ・フロー	△834	△587	+246	前年に賃貸物件（hitoto広島ナレッジスクエ ア）等を取得した影響による反動減など
財務活動によるキャッシュ・フロー	773	△1,999	△2,772	有利子負債の削減など
現金及び現金同等物の増減額	407	△347	△755	
現金及び現金同等物の期首残高	4,163	4,316	+153	
現金及び現金同等物の期末残高	4,570	3,968	△602	

# セグメント別経営成績(運輸業)

(百万円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減 (%)	主な増減要因	当初予想	増減 (%)
セグメント収益	11,114	11,456	+342 (+3.1)	2018年に運行開始した「エキまちループ」線や共通定期乗車券制度が浸透したことや、平成30年7月豪雨からの反動増、5月の大型連休による宮島来島者数増加が影響	11,254	+202 (+1.8)
セグメント利益	△581	△189	+392 (-)	原油価格下落に伴う燃料費の減少などが影響	△432	+242 (-)

# セグメント別経営成績(流通業)

(百万円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減 (%)	主な増減要因	当初予想	増減 (%)
セグメント収益	4,697	1,419	△3,277 (△69.8)	2018年10月に(株)広電ストアのスーパー事業を譲渡したことにより大幅な減収	1,448	△29 (△2.0)
セグメント利益	△59	39	+99 (-)	宮島来島者数の増加や、不採算事業(スーパー事業)の整理による効果により増益	45	△6 (△13.2)

# セグメント別経営成績(不動産業)

(百万円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減 (%)	主な増減要因	当初予想	増減 (%)
セグメント収益	2,193	2,064	△128 (△5.9)	不動産販売業の「西風新都グリーンフォートそらの」住宅用地の販売区画数の減少が影響	2,012	+52 (+2.6)
セグメント利益	735	697	△37 (△5.1)		627	70 (+11.2)



# セグメント別経営成績(建設業)

(百万円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減 (%)	主な増減要因	当初予想	増減 (%)
セグメント収益	1,817	2,031	+213 (+11.8)	宮島口地区港湾整備事業による受注増加が影響	2,460	△428 (△21.0)
セグメント利益	27	37	+9 (+34.4)		38	△1 (△1.6)

# セグメント別経営成績(レジャー・サービス業)

(百万円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減 (%)	主な増減要因	当初予想	増減 (%)
セグメント収益	969	1,006	37 (+3.8)	平成30年7月豪雨からの反動増や、5月の大型連休によるボウリング業、ゴルフ業の来場者数増加により増収増益	990	+16 (+1.6)
セグメント利益	65	78	+12 (+18.8)		63	+15 (+23.7)

# 2019年度の主な設備投資予定（連結）

## 電車

	導入数	金額
5200形 グリーンムーバー-APEX	2編成	760百万円
1000形 グリーンムーバー-LEX	2両	601百万円

## 自動車

	導入数	金額
自動車事業用新造車両	33両	924百万円

## 不動産

	金額
宮島口もみじ本陣代替施設 新築工事	1,150百万円



5200形 グリーンムーバー-APEX

# 2020年3月期 通期業績予想

(百万円)

	2019年 3月期実績	修正予想 (2019.11)	増減 (%)	主な増減要因	当初予想 (2019.5)	増減 (%)
売上高	36,545	<b>33,270</b>	△3,275 (△9.0)	(株)広電ストアのスーパー事業の譲渡や、一部バス路線において2019年10月に運行効率化や持続可能な公共交通サービスの提供を目的とした路線再編を実施した影響により減収見込	33,040	+230 (+0.6)
営業利益	△384	△ <b>370</b>	+14 (-)	運輸業における車両・設備に係る老朽化対策維持修繕費の増加や、不動産販売業の減収が影響	△480	+110 (-)
経常利益	△322	△ <b>370</b>	△47 (-)		△500	+130 (-)
親会社株主に帰属する 当期純利益	636	<b>640</b>	+3 (+0.6)		560	+79 (+14.3)

# セグメント別業績予想（運輸業）

(百万円)

	2019年 3月期	2020年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	22,203	<b>22,189</b>	△14 (△0.1)	2019年10月に、呉エリアにおける運行効率化や持続可能な公共交通サービスの提供を目的とした路線再編を実施した影響等により減収見込
セグメント利益	△1,599	△ <b>1,638</b>	△39 (-)	車両・設備の係る老朽化対策維持修繕費の増加を見込

# セグメント別業績予想（流通業）

（百万円）

	2019年 3月期	2020年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	6,157	<b>2,632</b>	△3,525 (△57.3)	(株)広電ストアのスーパー事業の事業譲渡により大幅減収
セグメント利益	△80	<b>14</b>	+95 (-)	不採算事業（スーパー事業）の整理により増益見込

# セグメント別業績予想（不動産業）

(百万円)

	2019年 3月期	2020年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	4,360	<b>4,123</b>	△236 (△5.4)	不動産販売業（西風新都グリーンフォートそらの）の販売数減少を見込
セグメント利益	1,180	<b>1,194</b>	+13 (+1.1)	新規物件の取得時諸費用の減少が影響

# セグメント別業績予想（建設業）

（百万円）

	2019年 3月期	2020年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	3,812	<b>4,248</b>	+435 (+11.4)	宮島口地区港湾整備事業による受注増加を見込
セグメント利益	61	<b>48</b>	△12 (△20.7)	建築資材等の価格上昇により利益率の低下を見込



# セグメント別業績予想（レジャー・サービス業）

(百万円)

	2019年 3月期	2020年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	1,901	<b>1,855</b>	△46 (△2.4)	ホテル業の大規模改修に伴う営業休止による減収を見込
セグメント利益	46	<b>48</b>	+2 (+4.9)	ボウリング業、ゴルフ練習場業の収益増加を見込 ホテル業の客室稼働率は減少するも、客単価の上昇を見込

---

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【問い合わせ先】

広島電鉄株式会社

経営管理本部 経理部 経理課

TEL 082-242-3542